

# 電気所屋外鉄構の耐震評価



蓄積されたノウハウをシステム化！ 立体解析を標準的な設計手法に

## 耐震評価の必要性

兵庫県南部震災後、変電機器類については全て耐震評価が行われ、強度が不十分な設備は耐震対策が実施されてきました。一方、屋外鉄構は、大規模改修工事が行われた一部を除き、現行基準における耐震評価を実施されていない状況にありました。

愛知金属工業では、近い将来起こり得る東南海地震などの大規模震災を想定し、安価で効率的、かつ着実に推進可能な立体解析システムを構築し、これまでに多くの実績を積み重ねています。



## 屋外鉄構立体解析システムの概要

これまでの立体解析では、モデルの作成、載荷荷重の設定、応力の集計に時間を要するため、長い工期と高価な費用が必要でした。そこで愛知金属工業では、大規模鉄構設備においても、安価で効率的、かつ着実に解析可能な、屋外鉄構の立体解析システムを開発いたしました。

## 屋外鉄構の設計方法

設備環境やお客様要望に応じて、「平面解析」「立体解析(等価ビーム法)」「立体解析(骨組モデル法)」から設計方法を選定して耐震評価を行います。解析は、共振正弦3波、模擬実地震波、加速度応答スペクトルに対応しています。

